



# サイジヤナル

月刊  
23-1・2  
第395号

日本サイ科学会 平成23年1月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> <small>〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号</small> <b>佐佐木 康 二</b> <small>☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097</small>	<b>中 部</b> <small>〒503-0981 大垣市松町1290</small> <b>山 田 哲 三</b> <small>☎ FAX 0584 (91) 1192</small>	<b>北 陸</b> <small>〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内</small> <b>佐 藤 禎 花</b> <small>☎ 076 (234) 6634</small>	<b>関 西</b> <small>〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39</small> <b>木 村 のり子</b> <small>☎ FAX 0797 (22) 6425</small>	<b>九 州</b> <small>〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7</small> <b>金 子 輝 夫</b>
---	---	--	--	---

## 年頭のご挨拶

会長 佐々木 茂美

新年あけまして おめでと  
ございます。

新しい年を迎えるにあたり、皆様方にご挨拶申し上げます。新年度がサイ科学会と皆様方にとつて良い年でありませう、明るく幸せな年と成りますよう、お祈り致します。



昨年度も先が見えにくく、困難の多い、激動の年でありました。あらゆる面で低迷が続いております。しかし、輸出やエコポイン

トの政策の為に、幸いにも、自動車や電機産業の経済面では、僅かに明るい面が出て来ているとの事であります。

昨年度を振り返ってみますと、良い事よりも悪い事の方が多かった様に思います。これは悪い事の方が良い事よりも強く響き、深く心に残る為かもしれません。経済面では円高、株安、デフレ等の景気低迷が続いており、日本中の大多数の市民は不景気であります。失業率は近年になく高く、大学生の就職内定率は過去最低に落ち込み、地方の中小企業、高齢者の生活は青息吐息であります。

これはリーマンショック後の世界的な現象であり、従って、多くの国は内向的な政策を継続せざるを得ない、とのこと。対策としては、政治家や経営者や行政関係者は右肩上がりの成長を計画するのは当然であります。一方、市民の一人一人は、今までの物質や経済を優先する考えを改めて、快適や飽食や便利さを目的にする生活

## 今月号の記事

- ◎ 年頭のご挨拶
- ◎ 一月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 関西サイ科学会一月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会二月例会予告
- ◎ 二月本部例会予告
- ◎ 第13回宇宙生命科学研究分科会予告
- ◎ 五月本部例会報告
- ◎ 第三五一回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三五二回関西サイ科学会報告
- ◎ 分杭峠の現状と経過

を改めて、質的ならびに精神面を充実する方向に転換するように心掛ける事が、一つの解決方法かもしれません。時代が変わっても変わらないもの、外側よりも内側のもの、精神的な面に目的を移すことも幸せになる方法であるかもしれません。

政治外交面では北朝鮮の核問題、ロシアとの北方領土、中国との尖閣諸島などの領土問題があります。

※1、2月の本部例会予告は2頁以降に掲載されておりますが、3月の本部例会はお休みとなります。

気になることは、中国とロシアの動きは連携している様に見えることとであります。韓国との間の竹島の問題もあります。国力が弱くなら政治、経済、個人生活などの様々な面で困難が多いので、今は忍耐の時であるかも知れません。しかし将来に向けては、若い人達が夢や志を待てる事が大切であり、融和や共生の思いを大切にして、生きていける様な社会を構築することが求められている、と思います。

良い面では、小惑星探査機「はやぶさ」が、宇宙を7年間の間、60億キロにも及ぶ旅をして、イトカワのお土産(微粒子採取)持参で無事帰還した、というニュースがありました。すばらしい。多くの人達に感動を与えてくれました。有難うございます。どんなにか力付けられた事か。2名のノーベル賞受賞(鈴木章博士、根岸英一博士)の発表も嬉しい報せでありました。日本サイ科学会は未知現象究明の研究活動と啓蒙運動を実施しております。毎月行われている講演会に追加して、シンポジウム「2012年問題とサイ」(阿久津淳大会委員長)があり、カオス出

現の可否や意識の次元上昇等が討論されました。またパワー・スポット(例、分杭峠)の測定と評価、将来構想などについての話し合いもありました。また最近には、複雑系科学のカオス解析を生体に応用する事により意識の変化が間接的に測定出来、意識の解明・改善も期待出来るようになりました。未知現象の研究は次第に進化と範囲を広げております。これらを持続させる為には会員の皆様方の積極的な参加と会員増加への努力が必要であります。ご指導と御支援をお願いいたします。

### 一月本部例会予告

### 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心霊現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらを

テーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

今回最初にまとまって何か発表したい方一、二名に20分位ずつで口火を切って頂いて、引き続き出席者の皆様から自由に発表して頂きます。

皆様の中で、ご自分で撮った不思議な写真、VHSテープ等もお待ちでしたら是非ご持参してください。(VHSテープやDVD等をお見せしたい方は、装置予約のため早めに事務局にお知らせ願います。)

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。また、ご自分では気が付いていないのに、思いがけない超能力を発揮する方もおられるかもしれません。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。

※最初にまとめて発表したい方は、事務局にメール、またはFAX願います。

日時 平成23年1月8日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 一〇〇〇円

◎事務局からのお知らせとお願い

☆本部例会等での運営ボランティア募集

受付での資料配付、講演者スライド発表時の電灯操作、コンピュータ操作などのお手伝いをしていただけませんか。当日の参加費が無料になります。

●左記にご連絡願います。  
office21@psij.mail-box.ne.jp

「心を科学する博物館」と  
一般の御寄付御礼  
(12/12受領分まで)

金二〇万円也 品川 次郎 様  
金一万円也 宇治橋泰志 様

◆ ◆  
関西日本サイ科学会  
一月例会のお知らせ

「最新脳科学と予知能力」

講師 赤松 瞳氏  
(脳・認知学者)

日時 平成23年1月15日(土)  
午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター  
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会  
二月例会のお知らせ

「脳科学と健康」

代替医療の疑問解消か!?  
〜4つの法則(脳/心/  
身体/栄養)から考える」

講師 下村 和弘氏  
(健康アドバイザー)

日時 平成23年2月19日(土)  
午後1時半〜5時

会場 大阪科学技術センター  
七〇一号室(↑要注意)

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

◆ ◆  
二月本部例会予告

世紀末的暗示と

予言の陰陽道的思考

講師 石川 和孝氏

1999年のノストラダムスの予言や2012年のアセンション予言等やこれを裏付けるような数々の暗示やマヤ暦の分析結果やフォトンベルト説、すい星の衝突説など科学者の諸説が行き交う世紀末思想の動きは、留まるところを知らません。

数ある科学者や思想家達は、予言や予想が外れるたびに言い訳を重ね新たな地球滅亡の道を模索しています。本当に世紀末は来るのか、それは、確実な答えなのか多くの人は、戦々恐々としています。

古来、陰陽道師は、天文学者であり宇宙の運行や日々の天候の流れ、変化から地上に住む生物の在り様を最善に導く分析に明け暮れています。その分析力をもって、現在の地球を分析します。

※陰陽道に關しまして深く幅広い知識をもって人間診断や未来予測をされている、滋賀県在住の石川先生の本部では初めての御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●石川和孝氏のプロフィール

昭和33戊戌年に生まれ幼少期より見えざる力に導かれるように様々な宗教団体を流浪、西洋哲学書、中国思想書を読みあさり生命の真理を求道し京都の大学生期に古神道、陰陽道と廻り合う。自然と人間との強い結びつきの中に元来の三次元世界の真理をさらに究めるため科学と陰陽道結び付け科学としての今陰陽道の求道師として活動する。

日時 平成23年2月12日(土)  
午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車  
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円



第13回宇宙生命研究分科会  
アセンション・シンポジウム

第4回ヒポクラテス・シンポジウム・スピリチュアルな健康とは何か？

日時 平成23年3月27日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・

太陽の会・国際問題研究会会員)

※会員以外の方の参加も大歓迎

## 五月本部例会報告

レイラインと富士塚信仰

講師 堤 裕司氏

始めに今回、会場として与野健康プラザを提供していただいた、日本サイ科学会理事で与野健康プラザ館長の鯉江勇氏から、与野健康プラザの建物全体の解説があった。

### ◎鯉江勇氏のお話

この辺りはさいたま市でも海抜の最も高い場所です。一万五千年前の遺跡が出ています。複合遺跡として、旧石器から平安時代まで遺跡が出ております。神社のあるポイントを結びますと2つのラインが交差しています。この建物の隣にある浅間神社には富士塚もあります。

ここを試掘中から近辺でUFOが出るようになり、私はそれまでUFOを信じていなかったのですが、信じるようになりまして。(さいたま市の地図を示しながら)古い神社だけをプロットすると2本のライン上にあり、それがここで交差しています。

このビルの中には2つのピラミッドがあります。一つは水晶のある部屋(+敷地の地下)をつなぐと四角錐のピラミッドとなり、一つは活性炭のある部屋(+敷地の地下)をつなぐと三角錐のピラミッドのピラミッド(下)を結んだ三角錐のピラミッドです。

各部屋は「木火土金水」の五行の理論で分けられています。その人の精神状態や体調に応じて、使う部屋を変えています。また、一階と三階は微弱放射線が出ていることが分かっております。

10年前には各部屋のチャクラの活性化度を堤裕司先生にダウジングで測定していただいております。従って、来られた方がこれらの部屋を使うことによって、いろいろな症状が改善しております。

### ◎堤裕司氏の講演

「レイライン」はイギリスのアルフレッド・ワトキンスというアマチュアのカメラマンであり考古学者が、1921年に提唱し、その3年後に「古い直線路」という著書を出しております。しかしアルフレッド・ワトキンスはあくまでもアマチュアの考古学者なので、考古学では相手にされず、古代の人々がそのような測量技術をもっているわけがないということも片付けられました。

ところがいろいろ調べてみると、ワトキンスよりも50年も前に同じ

ような主張をしている人間がいまして。1870年にウイリアム・ヘンリー・ブラックという人が、イギリスの考古学協会に対して、「遺跡は直線上に並んでいる」という説を発表しています。

ワトキンスは現地調査をしながら、二万五千分の一の地図上に自分の行った70前後の遺跡をプロットしてみると、何本かの直線上にあるように見えたのです。一直線上に3個以上のポイントが存在する線を「レイライン」と呼んでいるそうです。これが古代に本当に意図をもって遺跡が造られたものなのかを検証するためワトキンスが取った方法は、このときと同じ大きさの白紙を用意して、自分でランダムに70個の点をプロットしてみました。そして点同士を線でつないでみたら、地図の方は一直線上に3個の点が並んでいる線は十数本あったが、白紙のほうはその半分くらいしかなかったということです。

ワトキンスはこの「レイライン」を古代の商業路ではないかと推測しています。その遺跡の名前を調べてみると、その最後に「LEY」「RAY」「LEE」のように呼ばれ

るものが多かったのと、色の付く名前や長さを表す名前の遺跡が多いことが分かりました。そこからワトキンスは遺跡が並んだ直線を「LEY LINE」と名付けました。

専門の考古学者からは相手にされませんでした。ワトキンスは実際に現地に行つて、地図に載っていない遺跡を何十個も見つけたので、益々ワトキンス自身は「確かに古代人は何らかの意図や意志をもって、直線上に遺跡を配置したのではないか」と考えるようになりました。

1924年にワトキンスが出した著書は世間的には話題にならずほとんど忘れられた状態でしたが、その後大英博物館の職員であるロバート・ブースビーとレジナルド・スミスという2人のダウザーがワトキンスの本に光を当てます。それはワトキンスが亡くなつてから、20〜30年後のことです。

ワトキンスの主張した「レイライン」は地下水脈、あるいは地磁気と深い関係があるのではないかとダウジングの専門誌に発表しました。もう一人、実はダウジングの中で「レイライン」で重要な役

割を果たしたのは、ガイ・アンダウッドというイギリスのダウザーがワトキンスの「レイライン」を世に知らしめることになりました。アンダウッドはワトキンスの本を読んで、ワトキンスが調査したレイライン上のポイントでダウジング・ロッドで反応があるか実地調査をしています。



アンダウッドによると、「レイライン」は、「ウォーターライン」、「トラックライン」、「アクアスクワットライン」の3パターンがあると主張しました。「ウォーターライン」は地下水脈にあたり、遺跡と遺跡の間には地下水脈が通っているものがある、また「トラックライン」は動物の獣道ということ、獣、

特に小動物は自分を守るために地球の地磁気や大地のエネルギーに沿つて行動して獣道ができる、と解説しました。

実はワトキンスの本には、遺跡と遺跡をつないだ線だけではなく、古い十字路や、イギリスに多数ある「マウンド」と呼ばれる50センチから1メートルくらい盛り土したものを注目しており、これらもワトキンスは「レイポイント」と呼んでおり、さらに池の中にポツンとある島や、畑の中にある盛り土や祠も「レイポイント」だと言っております。アンダウッドはこれらを総称して「トラックライン」と呼んでおります。

3番目の「アクアスクワットライン」は「水源線」と訳されますが、現代の地質学者はそんなものは存在しないと頭から否定します。これは、地球の中心から地表に向かつてパイプ状に水が噴き上げるが、上には固い岩盤があるので地上には出てこない、その圧力によって水は横に流れていく、これを上から見ると蜘蛛の足のように水が一点から何方向か横に流れていくものを「アクアスクワットライン」としています。地質学者は否定して

いますが、アンダウッドも含めた多くのダウザー達がこれを認めています。彼らは有名な「ストーンヘンジ」も「アクアスクワットライン」の中心の一点の上に石で造られたものだと考えております。

今はGPSが発達し、またグーグルマップによって、現地に行かなくてもパソコン上で写真で調べられるので、すごく便利です。もし自分でワトキンス的な「レイライン」を調べる場合はそれらを使って、二万五千分の一にはそれほどこだわらなくていいと思います。が、それを目安として一直線上に3個以上、できれば4個5個の「レイポイント」と呼ばれる、日本では神社、寺、古くからある十字路、池の中の島等をマークしていくと、面白い線が見つかります。

もう一つのテーマの富士塚についてですが、私が富士塚に興味をもったのは、たかだか二、三年前なので、それほど詳しいわけではないのですが、二年前に富士塚を百個登り、その後富士山に登ろうという目標を立てて、現在までに四十数個登っています。

二年前にその目標を立てた事を



スサノオという大神として崇拝されています。

## 二、ユダヤ遺跡と書籍

村岡大輔氏の「淡路島におけるユダヤの痕跡」(CD)より重要な遺跡は洲本市の旅館にあり、そこで次の二冊の書籍を入手しました。それを紹介します。

①淡路の神秘エル、エロへ、イスラエル 発行人(白山義高) 解説者(武智塩翁) 淡路古文化開放協

②末法人類の救済書 知道出版 著者「奥所台巖」

エル、エロへ、イスラエルとは、イスラエルの神なる神という意味で、出エジプト記 三十三章十八にあり、淡路の神秘を黙示している本遺跡が祭壇であることを意味しています。

本遺跡の特徴は石室の表面の(XX)形の彫刻です。この凶形はユダヤ王家ダビデ章六芭星(△+▽)のずれを直して、正しく天地人に組み替えたものです。

## 三、淡路の三神山

入手した二冊目の書籍に大本教

出口王仁三郎の記述があり、この方は近代日本に現れた神道系新宗教の大霊能者のお一人です。エル、エロへ、イスラエルで彼は次のように語っております。



「日本の文明は大峠にさしかかり、大立替直しがおこり、混沌とした社会に秩序が生まれ、やがて彌勒の世が誕生する。現代は加速度的に破局に向かって進んで行く。そして神が定めた世の終末の審判が始まる。皇道大本の雛形が必要である。」

二冊目の「末法人類の救済書」の著者奥所台巖氏は出口王仁三郎の弟子で、この方は洲本市の淡路富

士と呼ばれる先山は先祖が鎮座する山であり、これをユダヤの神山のシナイ山「シオンの山」とされています。出口王仁三郎は国津神の国祖である国常立大神を崇拝し、自分はスサノオの化身としています。

## 四、出口王仁三郎の日月神示

日月神示 良「とどめ」の戦い 中矢伸一 徳間書店

世界的なユダヤ人の秘密結社のフリー・メーソンがあります。メーソンとは石工職人のことで、ユダヤ教の主ヤーウエは石、キリスト教のイエスが石工であったことからきています。著書ではフリー・メーソンをイシヤと呼び、この秘密結社が種々の組織と連携し世界を支配する一大勢力だということです。

昭和二十一年六月三十日 神示  
今度は根本の天のご先祖様のご霊統と根本のお地「つち」のご先祖様のご霊統が一つになりなされて、スメラ神国「日本」とユツタ神国「ユダヤ」と一つになされて、末代動かん光の世と影の無い光の世と致すのじや。

昭和十年六月九三十日 神示

岩戸開くまで、まだまだ一苦勞あるぞ。この世はまだまだ悪くなるから、この世には神も仏も居らぬというところまで、トコトン落ちていくぞ。

昭和三十六年九月一日 神示

楽し楽しんで大峠越せるぞ。神は無理もうさん。やればやれる時ぞ。へタすると世界は泥の海。神々様も人民様も心の目を開いて下されば、新しき太陽は昇っているではないか。

## 五、ユダヤ遺跡の発掘と今までの出来事

淡路のユダヤ遺跡は、自然の岩の裂け目を巧みに利用し、金属の道具を使わないで火と水の作用で造形した女陰の彫像があり、その彫像を二枚のV字型の岩で覆い、この呪文型象徴を隠していました。このV字型の岩の上に幾つかの玉石が置いてあり、その上に更に石の上蓋を天蓋としていました。これは男性神・陽の象徴とされています。

遺跡発掘メンバーの一人白山氏は著書で次のような感想を述べています。

「ローゼン師は日本をさして偉大

なる太陽の国シオンと呼びかけられた。奥義に達していた彼の言葉はユダヤと日本の共通性を認識した神の言葉である。神道の至高神「太一」はユダヤを漢字で表すと猶太となり、これは太の如しという意味です。従ってユダヤの神と共通性があり、シオンとはユダヤ教では神の国を意味し、約束の地である日本の使命とは神国日本である」

#### 六、預言者イザヤの使命と目的

イザヤは西の果てイスラエルから東の果ての日本へ導く役目を担ったと推察されます。南ユダ国ヒゼキヤ王はイザヤから主の御業、侵略するアッシリヤが壊滅的な打撃を受けたり、王自身の重篤な病気が回復するという奇跡が現れ、主の意志が新しい「約束の地」に導き、そこに楽園を創造するというのです。

王は、イザヤの長女であった王妃ヘフシバをも派遣することを決意し、その人も渡来したようので、イザヤ一行はアークを初めとする数々の秘宝も王国のバックアップによって運ばれたようです。

さてイザヤがイザナギであるこ

とに鑑み、ユダヤ遺跡の謎を解明するために聖書のイザヤ書を参考にして解明します。

イザヤ書 旧約聖書Ⅶ 岩波書店 訳者 関根清三

旧約聖書載訳委員

会訳

イザヤ書26章1〜4にはヤハウエーは悠久の岩と表現されています。

神の姿は古代日本のように岩で表象されます。淡路にも太陽祭祀のある舟木地区の石上神社は岩座があり、今でも女人禁制だそうです。

イザヤ書28章16〜18には「礎を置かれた基礎の尊い隅石」とはその参照文からイザヤないしその弟子たちが残した遺跡と解釈されるので、明らかに淡路にある遺跡だと推察されます。

イザヤ書29章1〜7にはアリエルという言葉が出てきます。

これはエルサレムの詩的な愛称を意味すると同時に「犠牲を捧げる神の炬」を表現していることから、エルサレムが多く犠牲者を出すことを示唆しています。神の

炬とはその火を炊くもので陰性であり、女性の意味です。

淡路のユダヤ遺跡は上蓋の部分陽性で土台の基礎石が陰性を表現しており、火で焼かれてある女陰の彫像は神の計画を実現するには多くの困難を伴うが、陰陽が一体になり調和することによって愛と平和が実現するという意味でしょう。

この思想は東洋の陰陽五行説にも通じ宇宙の法則を示しています。

終わりに

洲本のユダヤ遺跡は石組みそのものが日本神話の「国生み」と密接な関連があり、その思想の源がユダヤの秘密思想に有ります。

妙見山というのはいわば天の御柱が立つ山であり、天神であるイザナギと地神であるイザナミの陰陽合一の調和の原理をも示しているのです。イザナミは国生みの最後に火の神を産んでなくなられ、黄泉の国へいったといわれます。

このことは神は人間であったことが示唆されます。

すなわちイザナギとはイザヤその人であるということですが、

預言者が一流の黙示的手法を持

って表現したように、ユダヤの渡来人がこの神話を黙示的表現で作ったのではないかと思われま

す。イザヤとは南王国ユダ国においても偉大なる預言者であり、その影響は計り知れないものがあります。イザヤの死後においても第二、第三のイザヤが出現しており、この方の存在が如何に大きかったかを如実に物語っております。

#### 太陽の道の光跡とその驚異

はじめに

伊勢は海から太陽が昇る。三重県の伊勢から兵庫県の西の伊勢といわれる淡路島の伊勢の森に延びる一筋の線上に太陽にまつわる古いお寺、神社、遺跡が点在している。

それは尾道にある驚異の太陽遺跡に繋がっている。

太陽の道はどうやら東西の伊勢を結んでいるのみならず、ユーラシア大陸を横切り、その裏側でも繋がっている。

#### 二、太陽神の変貌

二見と言う名は伊勢にアマテラスをお連れした倭姫が、この地の

美しさに二度振り返ってみたといふことに由来する。

明和町には齋宮跡がある。

松阪市の南西部には宝塚古墳があり、美杉は伊勢本街道の面影が残っている。

長谷寺の本尊十一観音の横に子ども姿の雨宝童子が祭られ、「天照皇大神」と書かれた額が掲げられている。

伊弉諾神宮、伊勢久留麻神社、石上神社は淡路島北部にあつて、太陽神崇拜の地である。伊勢の森の舟木という村落には、石上神社があり、巨岩が本殿で、アマテラスが祭られている。

瀬戸内海に浮かぶ香川県の直島に「太陽の道」が通り現代芸術アート空間と結ばれている。

尾道の太陽遺跡

有名な寺（千光寺、西国寺、浄土寺）と背景の四つの山があり、あまり知られていないが、そこには沢山の巨石群（岩戸遺跡、船形玉、鏡、不動尊、龍穴）がある。

☆ ☆

淡路島の伊弉諾神宮には何度か訪れているが、そのいろいろなつ

ながりを教えて頂いて改めて感じ入ったことである。

地名はその歴史を表していると言われる。これらの地名は日本と諸外国との関係を教えてくれるようである。

当日の参加者は会員12名、非会員15名、合計27名でした。今回のカセットテープは20000円です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村（電話0797・22・6425）まで

（関西日本サイ科学会会長

河野 明夫）

◆ ◆

第三百五十二回関西日本サイ科学会研究集会報告

「なぜ、あなたに大きな

奇蹟が起こらないのか？」

講師 古村 豊治氏

とき 平成22年10月30日（土）  
ところ 大阪科学技術センター

古村氏のプロフィール

昭和30年早稲田大学商学部卒業。各種会社社長を歴任。船井幸雄先生主宰の直感力研究会講師、高次元波動研究会主宰。時空超越波動法を創出し、今日に至る。全国でセミナー開催。相談屋本舗運営。著書に「究極の自己革新」（博文館新社刊）、「らくらく探査力」わくわく意識力」（中央アート出版刊）、「悟り力」（知玄社刊）、「成功の宇宙法則」（致知出版社刊）などがある。



概要

今は、まさに激動の時代。天変地異や大災害、事件や難病奇病も続出している。それら難問へ対処

するには、個々人が「奇蹟力」とでもいふべき自分の本来の力に目覚めなければならぬ。その「奇蹟力」は、ただ待っているだけでは起こらない。奇蹟を起こすためには、人間と宇宙の構造を「直感力」を使い、理解しなければならぬ。また「意識力」で能動的に対処しなければならない。

はじめに

私は40年間ビジネスの世界で過ごしてきた。ビジネスでは答えを出すのが基本である。

今常識と言われることは400年前の科学であり、現在は量子力学の世界である。オカルトの世界である。

物事の判断基準は再現性があること。誰がやってもできることである。

私は本質生命体から情報を得ている。それでノイズが少ない。本質とは神仏である。

情報の確度はオーリングテストやImage Fingertestで確かめればよい。

本来人間の身体のかなりの部分がガン細胞である。

それを大調和エネルギー。必殺

仲良し。エネルギーが高い火山灰。共鳴と排斥。笑う門には福来る。波動を上げる。などの方法でよくする。

波動の法則の一番、今知って欲しい事

共鳴と排斥の法則。今は1000年に一度の混乱なんて言葉が新聞に出まくるのが、全く間違いで数万年に一度の事が起こっている。

- ・地震の波動にまき込まれない
- ・台風の波動にまき込まれない
- ・経済混乱にまき込まれない
- ・社会的混乱にまき込まれない
- ・陰謀にまき込まれない

・政治的策謀にまき込まれない  
その為には自分の身心の、脳の波動レベルアップが最も重要である。

シューマン共振波が大幅にレベルアップし、コルマンインデックス・ウエブポット・リープ2020・聖書の暗号・日月神示等の科学者予測と神示が全く一致している。

ノイズをとる  
ノイズには

- 1 先祖霊、水子霊。
- 2 環境ノイズ。

3 地縛霊、色、方位、古い戦いの場の自縛霊。

4 社会的ノイズ。JAL事故、円の問題。などがある。

ここでノイズをとる説明と実験が行われた。

古村氏の著書のある頁に自分の名刺を挟む方法。

メビウス法(神の波動を入れる)。問題が発生したら被害者が加害者に心で謝る方法。(それは過去生で被害者が加害者であったことがありそのカルマを消すためである。)

「急急如律令」という文言を使う方法。

### 量子力学的祈り

量子力学では「祈りが単なる宗教上の儀式ではなく、願望を実現し、創造する事を物理的に証明した」と言っている。

1. 過去完了形でお願ひするとは  
病気を治してくださいとお願ひするのは、今病気である事を認めているからである。認めているものが現れるのが：唯心所現 従って病気が実現して治らない。「この

病気が治りました」有難う御座います。が正しい。

2. 100%信じてるとは  
本当のプラス発想とは

A いくらプラス発想しても：  
例えば「二億」

B 10の一千億乗分の一、マイナス発想すると

マイナス発想⇨不安・疑い・もしや・・・

思いは掛け算であるから  
A×B⇨答えはマイナスです。

従って一点の疑いも持たず、とことん信じる。

3. 感謝とお礼 心から：既に実現!!

量子力学ではナウアンドヒヤで  
す。  
宗教も同じ。

全ては思い・意識

#宗教では唯識⇨あるのは意識だけ  
唯心所現⇨この世は唯心が現れる所

#量子力学では素粒子は人間の意識に反応する

不確定性原理 遅延選択の原理  
猪俣氏の意識工学

思い⇨意識の種類

1. 人間の意識・思い  
2. 先祖・水子の意識・思い  
3. 神の意識・思い

イ、人間の古手の神の思い  
ロ、絶対・創造神・宇宙神・

神霊の思い

4. 集合的無意識 百匹日の猿現象の思い

5. 動植物の意識・思い  
6. 万物一切の意識・思い

パワリの原理 目覚まし時計・パソコン・洗濯機

\*\*\*これらが全て+の思いであるように・・・

そして百パーセント信念  
フォトニックフラクタル

物事の因果を吸収する。  
エネルギーの空中採取可能?

電磁波蓄える夢の宝箱開発  
1カ所にとどめておくことが難

しかった電磁波や光を穴あきの立方体の中に閉じ込める夢の技術を

信州大と大阪大、物質・材料研究機構(茨城県つくば市)の共同研究

グループが開発した。研究グループは今後、昼間蓄えた光を夜に

放出させる電池ならぬ「光池(こうち)」や、空中に飛び交う電磁波をためて電源に利用する携帯電話へ

の応用などが考えられるとしてい  
る。近く米国の物理学専門誌フイ  
ジカル・レビュー・レターズに論  
文が掲載される。

グループは、信州大理学部の武  
田三男教授と本田勝也教授

正六面体は大和比 物事を一つ  
ひとつ構築する 思考の構築

描いたイメージを現実化 一家  
団欒

ノイズを吸い込んで溜め、LED  
で浄化

フォトニック・フラクタル時空  
的研究について

1. 最先端の科学的、物理的に開  
発された夢の宝箱フォトニック  
フラクタルの持つ特性(電磁波  
等の集約機能)を利用して

2. 一切のノイズ(霊的・化学的・  
細菌…)の波動を吸収し(ウイ  
ルス・細菌等のワルイ波動も)

3. 時空研 E<sub>g</sub>照射炉で∞になつて  
いるフラクタルなどで浄化する

4. その時には言霊の原理を最大  
限利用する

5. 具体的には名前、病名又は不  
如意な事、地縛霊…を書いて  
フォトニックフラクタルを載せ

平均10回読む

必殺仲良し法

ソマチッド

私はソマチッドを十数年前に取  
り上げている。人体中に80兆から  
100兆のソマチッドがいる。そ  
れは放射線、薬品、高温でも死な  
ずに生き延びている。

ソマチッド治療 ソマチッドは  
16の変態があり、次第に変わつて

最後にガンになるからこれを途中  
で止めればガンにならない。

時空研では言霊を使いフーチで  
治療する。ソマチッドを治せばよ  
いからである。

マグマ零(宇宙エネルギー集約火  
山灰)

主な効果

地縛霊除去 風水、家相、方位  
等による悪い波動の場のよみがえ  
り。健康改善、精神安定、家族会  
社融和及び、病氣治療等に波動効  
果が期待できる。

製造過程

ある火山の火山灰を収集し、そ  
れを精製し、EG照射炉にいれ一  
週間宇宙エネルギーを集約照射し

たものである。

性能

この火山灰は無限の波動(10の  
マイナス∞乗cm)≡零ヘルツ≡∞乗  
ヘルツを放射しており、あらゆる  
浄化に、又EG強化に波動共鳴し  
て効果を表わす。この宇宙エネ  
ギー集約火山灰の波動は現在の科  
学では測定できない。それはスカ  
ラー波、縦波であるから。

まとめ

- ・ 願い事は過去完了形で行う。
- ・ 成功者はカルマ(ノイズ)がな  
いから成功する。
- ・ 一般人はカルマ(ノイズ)除去  
が先である。
- ・ 21世紀はエゴを無くすことで  
ある。それによりウニビドリ  
(根元意識)につながる。

☆

☆

古村氏の講演はまず奇蹟から始  
まりました。それは大阪を直撃す  
るはずだった台風の進路を変えら  
れたことです。当日ほかの多くの  
会合が中止になる中で古村先生に  
講演をどうするか問い合わせたと  
ころ「大丈夫、大阪にこないよう

にしたから心配ない」との返事で、  
その旨を皆さんにメールしました。  
そのとおりに台風はそれ講演は無事  
すみました。身を持って奇蹟を経  
験しました。有難うございました

当日の参加者は会員15名、非会  
員58名、合計73名でした。今回の  
カセットテープは20000円です。  
ご注文は関西日本サイ科学会事  
務局木村(電話0797・22・  
6425)まで

今後の予定

1月15日(土) 脳・認知学者 赤松  
瞳氏「最新脳科学と透視能力」  
2月19日(土) 下村和弘氏「脳科  
学と健康 代替医療の疑問解消  
か!?」4つの法則(脳/心/  
身体/栄養)から考える」

3月19日(土) 重松昭春氏「日本  
人の生き方と21世紀の未来」  
4月9日(土) 芳野武人氏「誰でも  
できる 一日でできる 気の活用」  
(関西日本サイ科学会会長  
河野 明夫)

## 《本部月例会講演録の販売》

本部月例会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子 wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウインドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウインドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。皆様からの御注文をお待ちしております。

- 2003/ 1/19 大西 勉氏「驚異の有機ゲルマニウム」
- 2003/ 2/15 小林信正氏「心霊現象としてのORB(球体)の撮影研究」
- 2003/ 3/ 8 浪平博人氏「混迷の時代の独創的発想法」
- 2003/ 6/22 本間修二氏「未知能力の可能性と限界」
- 2003/ 7/13 七田 眞氏「右脳意識と宇宙エネルギー」
- 2003/ 9/21 菅 靖彦氏「変性意識と心の成長」
- 2003/10/18 竹本 良氏、渡辺宙明氏、服部哲雄氏 - UFO シンポジウム2003 -
- 2004/ 2/14 井出 治氏「大型テスラコイルの製作と応用」
- 2004/ 3/13 中島聖峰氏「平成16年の運勢予想と易占開運法」
- 2004/ 6/12 佐々木茂美氏「低放射線と気場、健康」
- 2004/ 7/10 鯨江 勇氏「人工気場が人体に与えた影響」
- 2004/10/ 9 さがわあつし氏「米国でシステム化されたりモート・ビューイングの紹介」
- 2004/11/14 エハン・デラヴィ氏「本当のパワー：新作『パワーかフォースか』の解説に向けて」
- 2004/12/12 クリス・アーンショー氏「黙示録タロットセミナー」
- 2005/ 1/16 片岡慎介氏「絶対テンポ116」一月を再科学する -
- 2005/ 2/13 牧野史敬氏「出口王仁三郎の人生と日本および世界の歴史の類似」
- 2005/ 3/19 南 善成氏「フィールド推進システム - 推進原理及び技術動向の解説 -」
- 2005/ 5/14 神尾 学氏「エネルギー宇宙論としての神智学」
- 2005/ 6/11 清田益章氏「超能力から“おのり”という体現へ」
- 2005/ 7/ 9 浪平博人氏「論理内容の瞬間教育」 佐々木茂美氏「サイ情報の伝達について」
- 2005/ 9/10 新倉イワオ氏「『世界心霊アラカルト』37年の歩み」
- 2005/11/12 神沢瑞至氏「気療で健康増進 - 国民の健康増進に寄与するために -」
- 2005/12/10 千里 弘氏「銀河中心ブラックホールのエネルギーによって万物は生成し、活動する」
- 2006/ 1/15 仲里誠毅氏「医療気功普及の時代到来」
- 2006/ 2/11 竹本 良氏「宇宙政治学∞道場」

- 2006/ 3/11 薄葉達夫氏「オーブ (ORB) 現象とサイ科学的考察」
- 2006/ 5/13 磯部賢一氏「21世紀の言霊・命の探求・Jibun発見」
- 2006/ 6/17 中津川 昂氏「オセアニアにおける未知現象総論」
- 2006/ 9/ 9 佐藤禎花氏「氣エネルギーヒーリングセラピー法」
- 2007/ 1/13 佐佐木康二氏「新しい念写実験と三田光一の『月の裏念写』の正確さ」
- 2007/ 2/10 須賀久夫氏「無邪気療法 ―メタボリックシンドロームよさよなら―」
- 2007/ 4/21 山内直美氏「セルフメディケーション『若さを保つ気功体操』」
- 2007/ 5/12 中島敏樹氏「新しい2つの分析手法で見た水のマクロな姿 “秩序とゆらぎ”」
- 2007/ 6/24 志賀一雅氏「脳の状態を脳波で探る ―サイ現象を引き起こす脳―」
- 2007/ 7/14 西條一止氏「身体が持つ自然の仕組みを活用する鍼灸学 ―自然鍼灸学―」
- 2007/ 9/ 8 仙経頭聖氏「画期的な火山灰技術の紹介から地球文明の破局回避の展望について」
- 2007/10/14 第18回全国大会
- 2007/11/10 苗 鉄軍氏「脈波のカオス解析による現代の『脈診』」
- 2007/12/ 8 志村則夫氏「いのちの叫び ―創めにいのち在りき―」
- 2008/ 4/12 石川幹人氏「21世紀の超心理学」
- 2008/ 5/10 茶丸氏「ジョーティシャ(インド占星学)の宇宙観と哲学」
- 2008/ 6/14 木内鶴彦氏「宇宙の記憶」
- 2008/ 7/12 佐田弘幸氏「プラス思考」から運命を創造する「ゼロ思考」へ
- 2008/ 9/13 徳永康夫氏「神秘の生命体ソマチッド」
- 2008/10/26 第19回全国大会
- 2008/11/15 宇治橋泰志氏「『難病を根本から改善する』新治療法を求めて」
- 2008/12/13 加藤隆吉氏「催眠と変性意識」
- 2009/ 2/14 天野聖子氏「大いなる自己と対話する自問自答の重要性和地球の現状」
- 2009/ 4/18 小牧昭一郎氏「人間の体の周辺に観察される磁気」
- 2009/ 5/ 9 膳 敬子氏「若返るって本当?」チベット体操を体験、感じるワーク
- 2009/ 6/ 7 山本 輝氏「言霊の幸はう日本国の復活」
- 2009/ 7/11 高月美樹氏「太陰太陽暦の活用法」
- 2009/ 9/12 高峯秀樹氏「未来を探る手相の神秘と科学」
- 2009/10/11 第20回全国大会
- 2009/11/14 山口敏太郎氏「真実とフェイク」環境汚染とDNA操作による未確認生物 (UMA) の誕生について
- 2010/ 1/16 前田知則氏「21世紀への適応プログラムとしての心のデトックス」
- 2010/ 2/20 須田泰心氏「超能力者の構造」
- 2010/ 4/10 根本泰行氏「映画『ウォーター』にみる水の真実」
- 2010/ 5/ 8 堤 裕司氏「レイラインと富士塚信仰」
- 2010/ 6/20 久保田昌治氏「水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。」
- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 感じられる“サイ”―3種類のサイデバイス・ソフト体験会―
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」

料集」に記録してあります。

なお、これらを参考にして製作した装置の大略はPSIJ (サイジャーナル) No.324 (2003年11月号参照)に書いてあります。それは、「入野谷」の4Fの瞑想室の天井(屋上)に設置されているピラミットのキャップストーン部にある外気集積装置(水晶・無誘導コイル・磁石)であり、これらを用いた実験結果は、米国サトル・エネルギー医学会論文集(Subtle Energies & Energetic Medicine. 1993.13-1, pp.1-73)に印刷報告してあります。

### 3) その後の経過と現状

ゼロ場(相殺零場)について略述します。一般には「ゼロ磁場」と呼んでいますが、地球表面の断層部の局所には「ゼロ場(相殺零場)」があります。実験室などでN極とS極を加算させて人工的に造られるのが「ゼロ磁場」です。しかし実験によると、「ゼロ場」ならびに「ゼロ磁場」の何れの場合でも未知エネルギーの集積がありません。

東洋医学によると、皮膚にある「ツボ(経穴)」は生命エネルギー(気)の出入り口である、と言われております。地球の断層部分等にも地球内部の未知エネルギーの出入り口があり、これを「ゼロ場(相殺零場)」と呼んでいます。断層の両側から、(正)方向と(負)方向の力が押し合って、局部的に零になり、「零の場」が形成され未知エネルギーが集積されやすくなると推定しております。未知エネルギーは力としてのエネルギーやラドン温泉等の低線量放射線エネルギー、原子を構成する素粒子群等のサイ情報構成要素から構成されており、人々の心身を活性化させ、力を与え、元気にしてくれると考えております。

なお、分杭峠の気場の「気の測定結果」は人体科学(1996.5-1, pp.47-55)に報告してあります。さらに、分杭峠の気場発見後の現在に到るまでの経過の大略は、次のサイジャーナル

(PSIJ)に紹介してあります。

- (1) 長野県長谷村の気場(1) : PSIJ、No.324、2003年11月号
- (2) 長野県長谷村の気場(2) : PSIJ、No.325、2003年12月
- (3) 分杭峠の気場の運用 : PSIJ、No.328、2004年3月
- (4) 零磁場、気場とは何か : PSIJ、No.339、2005年3月
- (5) サイ現象と相殺零場の関係 : PSIJ、No.383、2009年7月
- (6) パワースポットで何が起きるか : PSIJ、No.393、2010年9月
- (7) 分杭峠の気場について : PSIJ、No.334、2010年11月号

なお、2010年9月17日(金)に渡された資料によりますと、シャトルバス運用開始の3月20日から9月17日までの約6箇月間のバス利用者の累計は約7万2千名になります。これには、降雨による土砂崩れや積雪によるバス連休日の0名も含まれております。

### 4) 分杭峠の運用

「気」は素粒子や意識と類似性が多いと判断されており、また「気場」にはその局所にある「気」、並びに、そこに居る人達の「無意識」が集積している、と考えられる。狭い場所に大勢の人達が集まると、様々な内容の「気(正気、邪気)」が混在するように成る。邪気を受けない為には、気が進まない時や、なんとなくいやだ、と言う時は、そこから離れる様にする。ポジティブな状態(心身)で真摯な「願い事」がある時に、好ましい効果が得られると思います。深く、大きく、ゆっくりした呼吸をして、無意識に近い状態(変性意識状態)に入ると、意識と体外の気とが相互作用して願い事が叶えられる場合があると判断しております。

量が高く、渡り鳥は秋葉街道の上を飛んでいる。文化としては、関東系と関西系の分岐点(線)であり、角餅と丸餅、馬と牛文化等の分かれ路が秋葉街道である、と述べております。

このゼロ場(気場)を発見したのは、中国湖北省の武漢市から車で約2時間の距離にある蓮花山に、政府公認の元極学研究学会の総本部(基地)を設立した気功師の張志祥師でありました。張師のグループ(数名)を日本に招待して、分杭峠が発見されるに到った諸事情については別に記述させて貰いました(PSIJ, No.394, 2010年11月号)。

さらに蓮花山で聞いた話、並びに文献を調べたところ、蓮花山も分杭峠と同じく、断層上(3本の)に位置している事が判りました。自己資金(民間)を用いて1988年11月から蓮花山基地の建設が開始され、1994年には元極堂、元極回復病院、練功道場、研究所ビル、宿泊設備(近代的ホテル)、その他が設置され、第1次工事の完成面積は約5万平方メートル、元極学会員数は約百万人(多すぎる?)、基地の授業員は約350人、世界の13箇国に学会員がおり、さらに第2次工事として教育(大学)、研究、医療、経済活動、企業活動などを含む現代的な総合基地を計画している、とのことでした。そこは「人々を幸せにしてくれる場所である」と宣伝しておりました(4~5回、訪問)。

蓮花山の元極学が健康と癒しの場、訓練の場として巨大な組織にまで成長した理由を知る為、中国の国内の20以上の大学、研究所と蓮花山とが共同研究を行い、64項目の研究、つまり微生物学、生物学、物理学、科学、地質学、心理学など30以上の学問分野が手分けして検討したところ、「確かに気の存在がある」という結果を得た、とのことでした(論文集参照)。

この元極学を日本に紹介したのは、当時の、中国人体科学学会理事長の張震寰先生でありました。なお張気功師の来日が実現する為には若干の困難が有りました。「サイ実測研究会」か

ら招聘状が送付されて、さらに地元関係者の努力によってVIZAも取れて、張志祥師が来日したのは2年後の1995年の夏でありました。7月2日(日)、張師と筆者が駒ヶ根市で講演をすることになり、当日の午前中、地元の関係者(宮本高行氏ら)と共に、車(10数名)で張師を案内したところ、長谷村と大鹿村の境にある分杭峠周辺に気場のある事が発見されました。

そこは、蓮花山と同様に、張師の身体をセンサーにして感覚的に発見されました。分杭峠で張師は、「この土には香りがある。手の平に握って嗅いでみてくれ」と言って手の平の土を、筆者の鼻の前に差し出した。それは、強い香りであり、日本の護摩堂内で手の平に塗られる匂香と同じであると感じた。さらに「ここは世界でも有数な良い気場である」、「ここに堂を建設すれば、年に2~3回は、私もここに来たい」と言う意味の発言がありました。

このような事情があつて、地元では、地域振興策として「気の里」が造れないか、という議論があつたそうです。暫くして、建設省三峯川総合開発工事事務所の宮本高行所長宛に、元極学研究会(1995年10月21日~23日、開催)を蓮花山で開催するから出席して欲しい、と言う招待状が届き、これを受けて、伊那谷から各界の代表者(馬場市衛助役が団長)9名並びに、北京から筆者ら、その他、総計15名(日本側)が参加することになりました(筆者は首都師範大学で共同研究中)。

蓮花山基地における23日の午前中の分科会は、日本側からの依頼によって、蓮花山のシンボル建造物(元極堂)の建設関係の討論会となりました。中国側からは地磁気、地質、建設関係者13~14名が参加して細部にわたって質疑応答がありました。その後、この結果を参考にして「入野谷」の「気」関係の設計・計画が行われました(筆者担当)。この蓮花山での討論内容の詳細は(社)日本工業技術振興会「気エネルギー応用実用化委員会、第16回公開定例会資



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## 分杭峠の現状と経過

(2010年10月現在)

佐々木 茂美

### 1) はしがき

ゼロ場（相殺零場）または気場（気の集積地）としての分杭峠が、いま大変な人気で、狭い山道や急斜面に大勢の人達が押しかけている様子であります（300～1200名/日）。

気持ちが落ち着き、五感が活性化する、幸せや癒しを得たい、等であり、現在の世相を反映しているものと思われます。分杭峠は杭を分ける峠というように、伊那市長谷と下伊那大鹿村の境目に位置しており、峠の峰なので、そこに立てば、はるか彼方まで眼下に緑が広がり、誠に見晴らしが良く、気持ちが良い場所です。標高は1424m、撮影スポットの峠の峰には「従是北高遠領」の石柱が立っています。つまり昔は高遠領（桜の名所）であったとのこと。大勢の人達に好まれている気場としての「分杭峠」の発見、並びにその後の経過については、「サイ実測研究会」が関与しているので、気場の設立並びにその後の大略を報告致します。なお基になっている資料は、2010年9月17日（金）に現地の関係者（池上直彦課長など）から直接伺った話、渡された資料、サイジャーナル（PSIJ）などです。

### 2) ゼロ場の発見と入野谷

分杭峠は、日本列島を縦断する巨大な断層としての中央構造線にあります。これは、1000km以上に涉って地表面からも確認出来る有名な断層で、地殻変動によって出来た地球表面層の割れ、またはズレの痕跡を意味しております。安らぎを与えてくれる有数なパワースポットである、と市販単行本（2冊）や雑誌（約20種類）、新聞（3紙）等で紹介され、不思議現象が起こる場所であり、同時に健康にも良い、とNHK等のTV局（11局）等で報道されて有名になったとのことでした。また断層なので地球深部から様々なエネルギーが滲み出している、とも言われております。

現地に伝わる歴史によると、分杭峠は、秋葉街道（アキバ・カイドウ）と呼ばれる昔からの道路（国道152号）に近接し、中央構造線とはほぼ重なっていて、火伏の神様を祭る遠州秋葉神社への信仰の道でもありました。多くの修験者や願い事を持つ参拝者が、この分杭峠を駆け抜けていったとのこと。当時、建設省三峰山総合開発事務所に派遣されていた宮本高行所長は、秋葉街道としての断層の東側は堆積岩質、西側は火成岩質であり、地磁気が強く、自然放射線